

# 総務委員会議会報告会報告書

報告日：平成28年 9月15日

出席者	参加者	27人	
	議会側	総務委員会中平委員長他7人、山下議長	
開催日時		平成28年 7月19日(火) 18:30~20:00	
開催場所		東広島市福富町 湖畔の里ホール	
実施内容報告	テーマ	<u>1. 東広島市まち、ひと、しごと創生総合戦略</u> <u>2. 過疎地域自立促進計画</u>	
	概要	1 開会挨拶 2 議員自己紹介 3 報告(1) 東広島市まち、ひと、しごと創生総合戦略 報告(2) 過疎地域自立促進計画 4 質疑応答 5 閉会挨拶	
	議会報告	<p>(1) IJUターンについて、全国に比較した場合、東広島市は対応が遅れていると感じている。まず、東広島市の現状を教えて欲しい。</p> <p><b>答弁</b>：確かに東広島市については、今年度からの取組みとなっていることから、遅れているということもあると思う。そのような中、今年度、河内町宇山地区に受入れることとなっている「地域おこし協力隊」について紹介する。</p> <p>(追加意見) 東広島市には大学があることから、人口減少に対する危機感がないと感じられる。行政全体についても、例えば「ふるさと納税」への対応が遅かったり、固定資産税の減税広報が遅い等々、住民への速やかな情報の周知徹底を図って欲しい。</p>	
	質疑応答		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施内容報告</p>	<p style="text-align: center;">議会報告</p>	<p style="text-align: center;">質疑 応答</p>	<p>(2) 公共施設の適正配置と地方創生の関係を教えて欲しい。</p> <p><b>答弁</b>：公共施設の適正配置については、個別の内容について、これから地域との話し合いが行われ対応することになる。また、施設のあり方を見直すことは、次の世代に「負の遺産」を残さないために行うことである。</p> <p>(3) 東広島市まち、ひと、しごと創生総合戦略の策定過程を教えて欲しい。</p> <p><b>答弁</b>：一般市民による審議会の議論を踏まえて出来上がっている。また、その議論の推移については、我々議会としても、発言できる機会においては発言を行い計画策定に何らかの関与を行っている。</p> <p>(4) 過疎計画の中に上水道の整備が記載されているが、井戸水を使っていることから、当地域に上水道は必要ないと思っているのだが、いかがだろうか。</p> <p><b>答弁</b>：過疎計画は、有利な財源である過疎債を活用するための前提となる計画となることから、当面必要がないと考えられる事業であっても、可能性がある事業については、掲載しておかなければならないという側面を持っている。従って、今回の計画もそのような取り扱いをしている。</p> <p>(追加意見) 説明される方をお願いだが、①まず、文字が読み取れない資料は付けて欲しくない。②ゆっくり話して欲しい。③説明の時、資料の関係ページを言って欲しい。④カタカナ文字の使用は避けて欲しい。使われる場合は、分かりやすく説明をお願いしたい。</p>
---	---	--	--

<p>実施内容報告</p>	<p>議会報告</p>	<p>質疑 応答</p> <p>(5) 福富の道の駅で働いているが、この道の駅は三次・山陰へ行く人の休憩所でしかないと感じている。もっと当地の観光資源を掘り起こし、観光対策を講じるべきと思う。現在、祖母と暮らしているが、高齢者の移動する手段がないと感じている。福祉バスの「しゃくなげ号」も廃止され、高齢者が暮らしにくい環境となっているが、公共交通についてどのように考えておられるのか。路線バスに補助を入れる等、やり方はあると思うのだが、いかがか。</p> <p><b>答弁</b>：黒瀬町で行われている「黒瀬さくらバス」の取組みについて、紹介した上で、バス路線については、最初は乗車があるものの、徐々に利用者が減っていくという現実がある。そこで、地域の皆さんが「バスを守る」という意識を持ってもらうことも大切であろうと考えられる。</p>
	<p>要望・提言等</p>	<p>東広島市には大学があることから、人口減少に対する危機感がないと感じられる。行政全体についても、例えば「ふるさと納税」への対応が遅かったり、固定資産税の減税広報が遅い等々、住民への速やかな情報の周知徹底を図って欲しい。</p>
<p>その他 特記事項</p>		<p>1 テーマについて テーマ選定については、概ね総務委員会主催という主旨に合致したものであり、評価できるものであるが、市民にとって地方再生は最大の関心事であることから、今後も何らかの方法をもって、施策推進の状況報告は必要と考えられる。</p> <p>2 議会報告会への参加周知について 市の施策について議会が市民に情報提供を行い、多くの意見を収集することは議会としての役割であるという観点からみた場合、今回の参集結果は満足のいくものではなく、その方法論については、今後への課題として検討すべきである。</p> <p>3 説明について プロジェクターを使用しての説明には説得力があると感じられることから、聴取者には紙ベースの資料が残ること、要点筆記の資料を配布し詳細を説明する等、一定の工夫も必要である。</p>

<p>その他 特記事項</p>	<p>4 質疑応答について</p> <p>質疑応答については、計画立案の段階において具体の議論ができにくい側面があるなかで、議員として方向性を示すことは非常に大切であり、参加者から、いかに多くの意見、疑問等を引き出していくことは、さらに重要である。今後の議会報告会においては、テーマ別集中方式、テーブル方式等々、創意工夫に満ちた方法の採用を検討すべきである。</p>
---------------------	---